

令和元年(2019)年10月31日

# やま と ひ が し



やまとしりつやまどひがししょうがっこう  
大和市立大和東小学校  
11月(霜月)号

## あた ら がくりよく 新しい学力 その①



らいねん ねん がつ はじ れいわ ねんど きょういく げんば おお うご  
来年2020年の4月から始まる令和2年度に、教育の現場で大きな動きがあります。

それは、きょうかしよ がくしゅうないよう か  
教科書がかわり、学習内容も変わっていくということです。そこで、なんかい わ  
けて、じどう み つ つけさせたい、「あた ら がくりよく」についてふ 触れてみたいと思います。

まず、はいけい つうしん かんきょう おお へんか すで みちか  
背景ですが、通信やネット環境が大きく変化し、既に身近にあるスーパーマーケ  
ットのセルフレジや、キャッシュレス決済の けっさい どうじょう 登場、そしてじどううんてん どうじょう  
自動運転の登場などに見られ  
る「AI化」、そして、こくさいてき しじょう こうりゅう しんてん み  
国際的な市場や交流の進展に見られる「グローバル化」などがあ  
り、しゃかい おお へんか だれ かん  
社会が大きく変化していることは誰もが感じているところではないでしょうか。

いま しょうがくせい おとな ころ いま しょくぎょう しゅるい はんぶん  
今の小学生が大人になる頃には今ある職業の種類は半分ほどなくなるともいわれて  
います。「ちしき 知識」はデータとしてかんたん けんさく でき、いま にんげん おこな  
簡単検索でき、今まで人間が行っていた多くの作業も  
きかい じんこうちのう お か  
機械や人工知能に置き換えられていき、いまま でない新しい仕事 生まれるのだそうです。

つまりいま までの がくしゅう ちゅうしん し  
学習の中心だった「知っている、やり方が分かっている」という「ちしき 知識」  
りかい ぶぶん が じゅうよう がくりよく じだい おお か  
理解」の部分が、重要な「学力」だった時代から大きく変わろうとしているのです。

では、これからの あた ら がくりよく なん  
「新しい学力」とは何でしょうか。ひとつはみち じょうきょう たいおう  
未知の状況にも対応が  
できる しこうりよく はんだんりよく ひょうげんりよく  
「思考力・判断力・表現力」です。そして、まな じんせい しゃかい い  
学んだことを人生や社会に生かして  
いこうとする まな む ちから にんげんせい  
「学びに向かう力・人間性」ということがキーワードとして新たに挙げられて  
います。「ちしき 知識・りかい 理解」を活かす力、かつよう ちから あた ら こと もの そうぞう ちから すがた ちから  
新しい事や物を創造する力や姿が、求められる

あた ら がくりよく しょうたい  
「新しい学力」の正体のようです。 がつごう つづ  
12月号に続きます。 こうちょう  
校長

